

# 研鑽深めたり

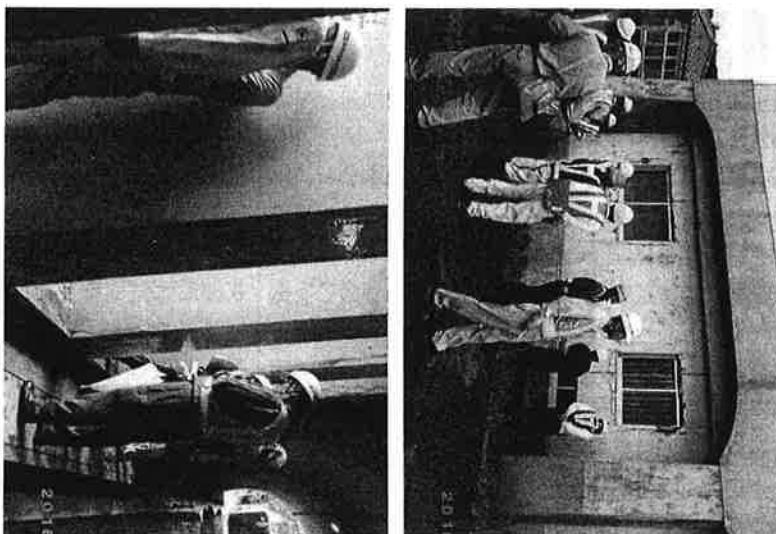
2016年10月31日

建設ジャーナル

構築物を診て回り、意見交換しながら「50年後の樹脂塗装鉄筋の使用も考慮されられる」とした。また、「26年後の変状につい

た、次回現場研修会は本年11月、上越地域で実施

(日本コンクリート工学会)の予定。	から探ることにより、診断士の提供に日々鍛磨し、タの離散見された。後で増	の会議に繋げた「ヒ	の資格者から上を図ることを目的の打設は一般的に難しく、抱負を述べた。	成る「新潟県コンクリート診断士会」の有資格者から一つとして実施された。豆板やひび割れが発生したなお、10月28日(金)午後	研修会にはコノサルタやすい。その対策例として1時30分から、新潟中央電話025-323-2714	濃茂雄新潟工科大学名誉教授・会員114名は生コン関係者ら約30名がや膨張剤の使用が有效で、今回の現場研修会にて、今回の現場研修会	8月30日、台風10号接近参加し、本田明会副会長の報告会(一般公開・入	長の引率の下にRCの校環境下の構造物の長寿命場無料)が開かれる。ま	の影響受けながら、村上・山口地城の毎年8月に繰
2	3	2	7	29	0	2	1	FAX05-	1
2	3	2	7	29	0	2	1	FAX05-	1
2	3	2	7	29	0	2	1	FAX05-	1
2	3	2	7	29	0	2	1	FAX05-	1



理の方法等を実在構造物補強技術の構築、維持管理化・変状の評価・補修・月)に次ぐもので、劣化の規察(平成24年9月)、新発田地域の道路橋の損傷把握(26年11月)湯沢地域における橋梁劣化現場研修会は、今回現場研修会を開催した。物の劣化・変状について接するコンクリート構造